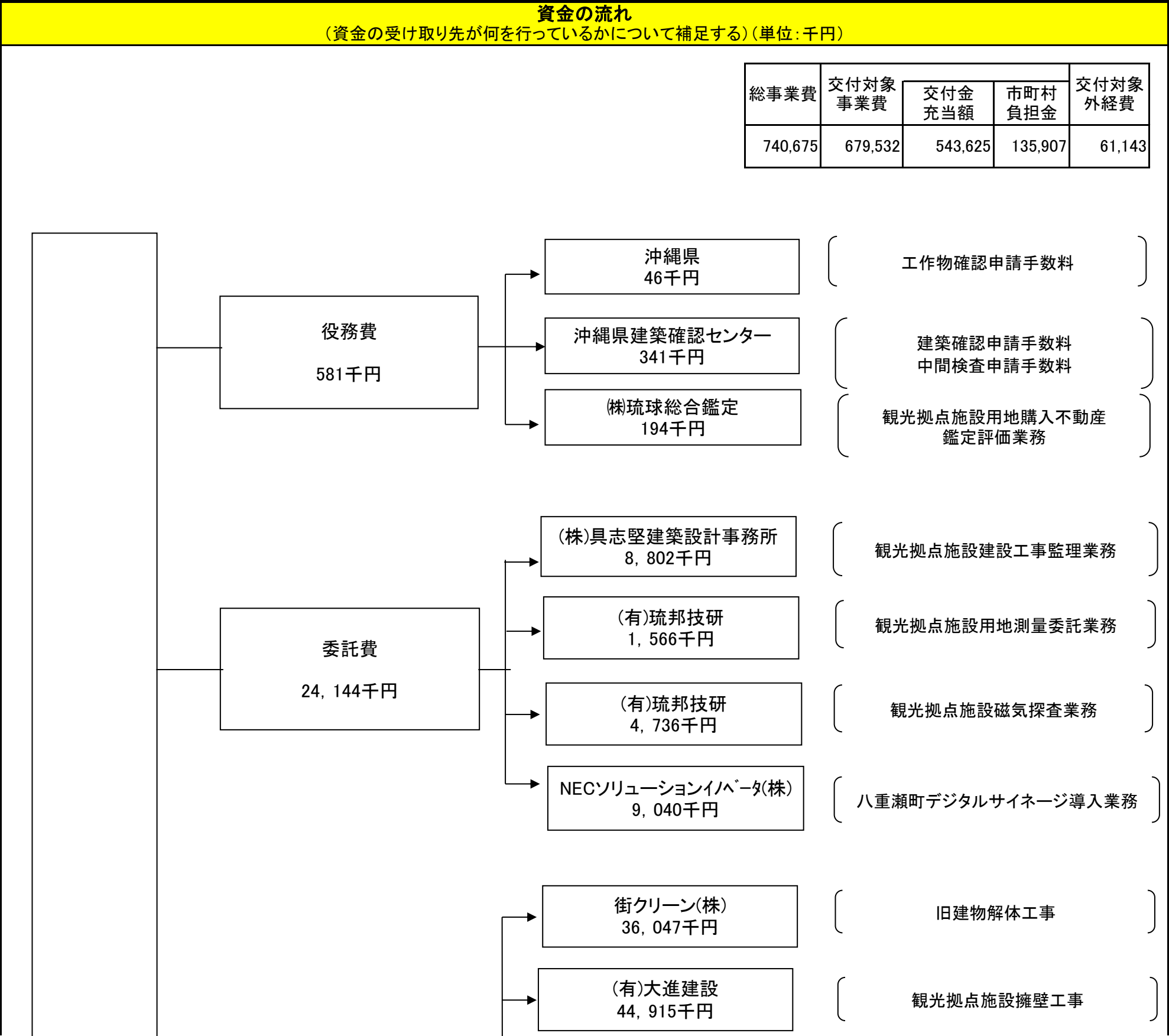


市町村名		八重瀬町							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		2－⑩		八重瀬町観光拠点施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)		
							観光客受入体制の整備		
担当部課名		まちづくり課		事業実施 （予定）年度	平成27～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-1		
事業内容		本町の観光を推進する拠点機能としての観光インフォメーション施設、特産品等の販売施設、体験型・交流観光推進施設等の観光振興機能の導入を図るとともに、沖縄本島南部観光における中継地点として利用されるよう、観光拠点施設・屋外トイレ・屋外広場・駐車場などを整備する。							
効果発現年度		□当年度 ■後年度（30年度）							
実施方法		■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）				27年度	28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,300	747,431				
			(b) 予算現額	32,277	747,431				
			(c) 増減額 (b-a)	25,977	0				
			(d) 繰越額		－	119,660			
			A. 計 (b+d)	32,277	747,431	119,660			
		B. 執行済額		32,223	627,771	112,904			
		うち交付金充当額		25,563	455,683	87,942			
		次年度繰越額		0	119,660	0			
		執行率（％）(B/A)		99.8%	84.0%	94.4%			
予算の状況の説明		工事予定地(国有地)の埋設物を国が移設した後、用地を購入することとしていたが、国が発注する移設工事の入札が不調になったことに伴い、スケジュールに遅れが生じ年度内の完了が困難になり用地購入費及び工事請負費119, 660千円をを繰越して執行することとなった。また、入札残等による執行残により、6,756千円の不用が生じた。							
活動目標 （指標） 及び達成状況		H28活動目標（指標）		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度		
		・八重瀬町観光拠点施設の建設 観光拠点施設本体(RC2階 1, 110㎡) 屋外トイレ (RC1階 101㎡) 屋外広場 (S造 181㎡) 小型駐車場整備 76 台 大型駐車場整備 6 台	目 標	(基本設計の策定 建築設計の策定 造成設計の策定)	(観光拠点施設 本体・屋外トイレ・屋外広場・ 駐車場の建設)	()	()		
	実績	基本設計の策定 建築設計の策定 造成設計の策定	観光拠点施設本 体・屋外トイレ・屋外 広場・駐車場(小 型:72台 大型:6 台)の完成						
達成 状 況 説 明		平成27年度に基本・実施設計を完了し、平成28年度（一部繰越）に建築・電気設備・機械設備・外構工事(5件)他・用地購入、備品購入等を行った。繰越での事業執行となったが、おおむね目標どおりの達成となった。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況		H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （30年度）
		・八重瀬町観光拠点施設の完成 観光拠点施設本体(RC2階 1, 110㎡) 屋外トイレ (RC1階 101㎡) 屋外広場 (S造 181㎡) 小型駐車場整備 76 台 大型駐車場整備 6 台	目 標	()	(観光拠点 施設本体・ 屋外トイレ・屋外広 場・駐車場の 完成)	()	()	()	()
			実績		(観光拠点 施設本体・ 屋外トイレ・屋外広 場・駐車場の 完成)	()	()	()	
		【H30年度成果目標】 施設来場者数	目 標	()	()	()	()	()	210,000人以上
			実績		()	()	()	()	
		進 捗 状 況 説 明		・観光拠点施設の建物建設については、平成29年度3月末で整備が完了し、平成29年4月から施設の一部供用が開始されている。 ・小型駐車場整備予定台数76に対して72台の整備にとどまった。要因として、民間事業者の建設する商業施設の建設が未着手で、隣接する箇所での工事用地が確保できず、次年度に整備する予定となった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・駐車場整備において、用地確保に不足の時間を要した事により年度内完了が困難になり、一部工事を繰越しての完了となった。 ・施設の一部は計画どおり、平成29年4月に一部供用することができたが、駐車場が不足したため、施設運営に支障が生じた。	・施設整備は、ほぼ完了したので特に改善の余地はないが、今後電気自動車の充電施設、コミュニティFM開設に向け検討を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
・電気自動車充電施設の需要と、必要性を検討する必要がある。 ・コミュニティFMを開設することによる、事業効果の検討を図る必要がある。		



八重瀬町 740, 675千円 工事請負費 678,653 千円 (株)南成建設・(有)神谷総合建設・(有)平良建設特定建設工事共同企業体 308, 880千円 (有)丸清産業 69, 805千円 久建工業(株) 82, 235千円 (有)新光組 13, 014千円 (有)仲座建設 38, 372千円 (株)寿開発 32, 076千円 (有)協和工務店 41, 056千円 (有)平良建設 11, 529千円 東洋電子(株) 724 千円 用地購入費 17, 600千円 国(沖縄総合事務局長) 17,600 千円 備品購入費 19, 697千円 (株)ジムキ文明堂 19, 202千円 那覇縫製センター 495千円 観光拠点施設建築工事 観光拠点施設電気設備工事 観光拠点施設機械設備工事 観光拠点施設外構電気工事 観光拠点施設外構工事(2工区) 観光拠点施設外構工事(3工区) 観光拠点施設外構工事(4工区) 観光拠点施設外構工事(5工区) 観光拠点施設電話設備工事 — 八重瀬町観光拠点施設備品購入 観光拠点施設ブラインド備品購入			
資金 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は6,756千円であるが、不要額は次年度工事として、新たに事業化して執行することとなり適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については精算時に検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6－①	やえせのシーちゃん広場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ				
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興			
事業内容	八重瀬町では土地区画整理事業による総合的な魅力を備えた交流拠点としての整備により、新たな中心市街地の形成を目指しており、新しい中心地に「やえせのシーちゃん広場」を整備することでにぎわいを創出本町の活性化を図る。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	981	85,159				
		(b) 予算現額	981	85,159				
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0			
		(d) 繰越額	0	0	49,946			
		A. 計 (b+d)	981	85,159	49,946			
	B. 執行済額		918	35,213	49,334			
	うち交付金充当額		734	28,170	39,468			
	次年度繰越額		0	49,946	0			
	執行率（％）(B/A)		93.6%	41.3%	98.8%			
予算の状況の説明		28年度において鋼材の不足の理由により、不測の期間を要したことから、49,946千円を繰り越して実施し、29年度中に事業を完了することができた。 不用額612千円は入札残によるものである。						
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度		
	シーちゃん広場実施設計監理及び工事	目 標	（ 監理及び工事実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	監理及び工事実施					
達成状況説明	27年度までに基本設計を実施した。 これらの成果物に基づき、28年度においてはシーちゃん広場実施設計を行うとともに、工事の実施に取り組んだ。 鋼材の不足から29年度に工事の工程を繰越て実施することとなったが、工事については着実に実施していくことができた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値（年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（年度）
	シーちゃん広場工事完了	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		完了				
	【H30成果目標】 広場を活用して実施するイベントの来場者数	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	10,000	
		実 績						
	進捗状況説明	繰越により29年度においての完了となったものの、建築工事については順調に進捗し、建築工事(228.58㎡)を竣工することができた。 なお、整備後においては地産地消祭りなどのイベントをはじめ、年間通してのイベント等による活用を見込んで、平成30年においては年間10,000人程度の利用者(イベント来場者)を目標として、運用を行っていく。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今後、指定管理委託により運営予定であるが、施設の利活用を図るため施設の周知活動が必要である。	本業務の目的を達するために、町広報、指定管理者の広報誌等により周知を図る。
今後の取り組み方針		
○指定管理者と連携を図り、事業計画に基づき施設を活用する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
49,334	49,334	39,467	9,867	0

八重瀬町
49,334千円

委託料
1,706千円

富士工務店一級建築士事務
所
1,706千円

(やえせのシーちゃん広場施
工監理委託業務)

工事請負費
47,628千円

(株)大進建設
47,628千円

(やえせのシーちゃん広場施
工)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事、委託業務選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画どおりの執行となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	